

# より安心して暮らせる地域に

新潟県警察署  
地域課 分水交番所長  
五十嵐 康喜さん

市内の交番に勤務し、地域に根ざした警察活動にあたる五十嵐さんにお話を伺いました。

現在燕市では、警察機能の中心となる警察署のほか、交番と駐在所がそれぞれ3カ所設置されています。私が所属する交番や駐在所は、管轄する地域のパトロールや各住宅を回る巡回連絡などを通して、生活の中で変わったことや危険が隠れていないかなど、地域の皆さんの安全確保のための業務を行っています。

これからの時期、皆さんにお願いしたいことが2つあります。まずは、子どもたちの見守りです。新学期から1カ月が経ち、学校生活にも慣れてきてとても楽しい時期です。一方で、登下校中の寄り道や、友だちの家に遊びに出かける際に危険な目に遭うケースは少なくありません。子ども目線では、気付かないことでも、「実は、危険な場所や場面に遭遇していた」ということもありえます。子どもたちの安全のためにも、保護者・地域が一体となった見守りにご協力をお願いします。



2つ目は、外出時の戸締まりです。気温や天候にも恵まれるこの時期は、ちよつとした畑仕事やお出かけ時に戸締まりを忘れる場合が多くあるようです。「少しくらい大丈夫だろう」と考えがちですが、犯罪者は見逃しません。少し離れた間に、玄関や車に置いてあった貴重品が盗まれるといったことがないように、日頃から注意をお願いします。



▲登下校時の見守りの様子

# 地域の目で子どもたちを守る

水道町一丁目自治会  
自治会長

早川 賛治さん

これまで自治会や交通安全協会などの活動を通じ、積極的に子どもたちの見守り活動を行ってきた早川さんにお話を伺いました。

現在、月に1回ほど、夜間の地域パトロールを実施しています。子どもたちの通学路を中心に、実際に歩きながら危険な場所が潜んでいないか確認をしています。例えば、薄暗い神社やお寺の境内、民家の塀やガレージの影など、身近な地域の中でも、人目につかない場所は意外と多くあるんです。事前に危険な箇所を把握し、地域内で周知することで、これまで死角となっていた部分にも「地域の目」が届き、被害を未然に防ぐことにつながると考えています。

昨年、近隣の自治会と共同で、犯罪撲滅を目的とした「地域安全懇談会」を開催しました。講師には、地元小学校の校長先生や警察署員を招き、地

域防犯のあり方について考えました。このような会を開催する時は、できる限り、子どもたちや保護者、地域の皆さんを巻き込み、顔見知りになってもらうような心がけています。核家族世帯が増えた今、地域に知り合いがいることが、子・親どちらにとっても、いざという時の安心につながるものだと考えています。

**topic**

## 犯罪の中で最も多い 窃盗への対策

刑法犯被害の6～7割は窃盗の被害です。新潟県や燕市における、窃盗被害のうち、鍵をかけていなかった場合が非常に多くなっています。

窃盗被害を防ぐため、家や車、自転車には必ず鍵をかけるほか、窃盗に狙われやすい環境をつくらない対策を心がけましょう。

### 自転車の防犯対策

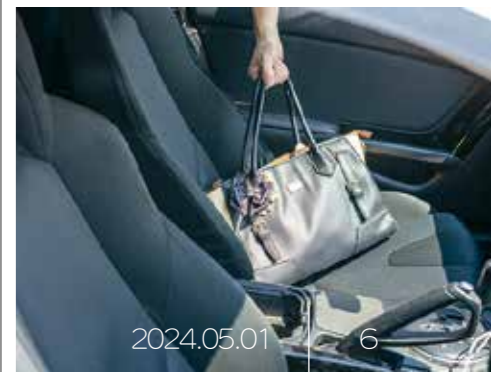
- 短時間でも必ず施錠
- 防犯登録は義務
- 動かないものにつなぐ
- ロックは2重に

### 車の防犯対策

- 短時間でも必ず施錠
- 鞆・貴重品は車内に置いたままにしない
- ドライブレコーダー・車内防犯ブザーの設置

### 家の防犯対策

- 短時間でも必ず施錠
- 防犯カメラの設置
- 補助錠やセンサーライトの設置
- 隣人や地域の住人とコミュニケーションを取る



## 相談窓口

身の回りの些細な異変や不安ごとがあれば、お気軽にご相談ください。

- 燕警察署 地域課  
☎ 0256・94・0110
- 燕市役所 生活環境課 交通安全・防犯係  
☎ 0256・77・8162
- 公益社団法人 にいがた被害者支援センター  
☎ 025・281・7870